

オーテピア高知図書館サービス計画進捗状況（R元.10.21 会議資料）

1 地域を支える情報拠点機能の充実		3 利用者に応じた図書館サービスの充実	
(1)資料・情報の提供（貸出し・閲覧・予約）	・・・ P 1	(1)児童サービス	・・・ P 1 1
(2)高知県関係資料の収集・保存・提供	・・・ P 2	(2)ティーンズ・サービス	・・・ P 1 3
2 暮らしや仕事の中でのさまざまな課題解決への支援		(3)多文化サービス	・・・ P 1 5
(1)レファレンス・サービス	・・・ P 3	(4)図書館利用に障害のある人へのサービス	・・・ P 1 7
(2)課題解決支援サービス		4 連携・支援及び図書館の活用	
①ビジネス・農業・産業支援サービス	・・・ P 4	(1)市町村立図書館等への支援（県立図書館機能）	・・・ P 1 9
②健康・安心・防災情報サービス	・・・ P 6	(2)高知市全域サービスの拠点（市民図書館機能）	・・・ P 2 1
(3)情報リテラシー向上支援サービス	・・・ P 8	(3)県立学校図書館等との連携・協力（県立図書館機能）	・・・ P 2 2
(4)行政支援サービス	・・・ P 9	(4)中心市街地活性化への寄与・周辺施設との連携	・・・ P 2 3

サービス指標の状況

目 標 (平成33年度)	実 績 (令和元年8月末日現在)	評 価 (令和元年度の見込み)
■ オープンピア来館者数 100万人	■ オープンピア来館者数 467,685人	■ オープンピア来館者数 ○
■ 年間個人貸出点数 110万点	■ 個人貸出点数 463,685点	■ 個人貸出点数 ○
■ レファレンス件数 3万件	■ レファレンス件数 17,998件	■ レファレンス件数 ○
	実 績 (開館日～令和元年7月23日)	
	■ オープンピア来館者数 1,069,542人	
	■ 個人貸出点数 1,052,053点	
	■ レファレンス件数 43,356件	

大項目	中項目	サービス計画本文	平成31年3月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24～3/31のもの (注釈のあるものを除く)	令和元年8月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは4/1～8/31のもの (注釈のあるものを除く)	今後の『改善』 (Action) (課題があれば対策を 意識して記入)
1 地域を支える情報拠点機能の充実					
	(1)資料・情報の提供 (貸出し・閲覧・予約) 資料、貸出し・予約・リクエスト、展示、利用ガイド、職員研修	図書館は、資料や情報を収集・保存し、利用者の求める情報を提供することを目的としてサービスを行っています。 資料は、館内で自由に閲覧できるだけでなく、好きなものを好きな時間に読めるよう、貸出しも行っています。希望の資料が貸出中の場合には、予約することができますし、所蔵していない資料は、他館からの取り寄せや購入等により、利用者のリクエストに積極的にお応えします。 利用者の多様な資料要求等に応えるため、「幅広い資料の収集」を行い、必要な情報にアクセスできるようにサポートしやすい体制を準備するなど、「利用しやすい環境」を整備します。 また、おもてなしの気持ちを持って、「誠意ある対応」を常に意識しながら、資料・情報を提供します。 利用者はさまざまな利用スタイルに合わせ、閲覧席や静寂読書室、グループ室、ラーニング・コモンズのほか、自習ができる学習室を利用できます。また、館内には、セルフ式貸出機やセルフ式予約受取コーナーを設置します。窓口での混雑を和らげ、待ち時間の短縮を図るとともに、プライバシーに配慮したうえで、利用者自身で手軽に借りられるようにします。	①資料の収集・提供 ○利用者の多様なニーズに応える資料の収集・提供 H30資料購入費 184,148千円(県101,979千円、市82,169千円) うちオーテピア高知図書館分133,963千円(県101,979千円、市31,984千円) *いずれも決算額 《一般図書》 【取組】図書受入55,380冊(購入：41,174冊 寄贈等：14,206冊 H30.4～H31.3月末) 【評価・課題】計画的に購入できた。 《新聞・雑誌》 【取組】新聞・雑誌受入：新聞150紙・雑誌1,509タイトル 雑誌受入12,269冊(うち購入9,085冊、寄贈等3,184冊 H30.4～H31.3月末) 【評価・課題】計画的に購入できた。 《電子書籍》 【取組】利用可能タイトル数：3,989 閲覧：4,090回 【評価・課題】導入当初と比較すると閲覧回数が減少しており、さらに広報を行っていく必要がある。 ②貸出し・予約・リクエスト ○セルフ貸出機等の利用 【取組】ボランティア団体「オーテピアンズ」の協力などによりセルフ貸出機の利用の促進を図った。 【評価・課題】3月末現在の使用率は約77%。 ○資料のリクエスト・取り寄せ(相互貸借) 【取組】リクエストを受理してから各担当の購入の意思決定までの期間を、一週間以内とした。 相互貸借実績(借受数)：639件 【評価・課題】以前は意思決定まで時間のかかることがあったが解消された。	①資料の収集・提供 ○利用者の多様なニーズに応える資料の収集・提供 R元資料購入費 184,364千円(県102,195千円、市82,169千円) うちオーテピア高知図書館分133,865千円(県(市町村支援分含む)102,195千円、市31,670千円) *いずれも予算額 《一般図書》 【取組】図書受入24,466冊(購入：19,842冊 寄贈等：4,624冊 H31.4～R元.8月末) 【評価・課題】非流通図書等、書店等で購入できない場合がある。 《新聞・雑誌》 【取組】新聞・雑誌受入：新聞160紙・雑誌1,579タイトル 雑誌受入5,249冊(うち購入4,030冊、寄贈等1,219冊 H31.4～R元.8月末) 【評価・課題】外国語の新聞・雑誌が少ない。 《電子書籍》 【取組】利用可能タイトル数：3,990 閲覧：1,580 【評価・課題】導入当初と比較すると閲覧回数が減少しており、さらに広報を行っていく必要がある。 ②貸出し・予約・リクエスト ○セルフ貸出機等の利用 【取組】ボランティア団体「オーテピアンズ」の協力などによりセルフ貸出機の利用の促進を図った。 【評価・課題】8月末現在の使用率は約77%。 ○資料のリクエスト・取り寄せ(相互貸借) 【取組】リクエストの受理から購入決定まで一週間以内としている。 相互貸借実績(借受数)：294件 【評価・課題】リクエストの量が多く一週間以内で対応できないケースがある。	○書店等で取り扱われていない資料を購入するため、契約方法等を検討する。 ○外国語資料については、リクエストに積極的に対応するとともに、引き続き新しい新聞・雑誌の購入を検討する。 ○広報紙やSNSにより、引き続き電子書籍の広報に努める。 ○引き続き利用促進を図っていく。 ○今後も解消されないようであれば、業務分担の見直しが必要。

大項目	中項目	サービス計画本文	平成31年3月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24～3/31のもの (注釈のあるものを除く)	令和元年8月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは4/1～8/31のもの (注釈のあるものを除く)	今後の『改善』 (Action) (課題があれば対策を 意識して記入)
	(2)高知県関係資料の収集・保存・提供 収集、保存、提供	<p>高知県に直接関係する図書や雑誌、新聞、パンフレット、地図、DVD、CDなどだけでなく、高知県にゆかりのある資料も高知県関係資料として、収集し、提供します。</p> <p>また、高知県や県内市町村、関係団体が作成した資料(行政資料)等についても積極的に収集し、提供します。</p> <p>図書館の3階には、高知県関係資料を集めた専用のコーナーや、レファレンスのほか、貴重資料を閲覧するための部屋、調査や研究等の際に利用する研究個室等を設けており、さまざまな利用スタイルに合わせ利用できます。</p> <p>現在、所蔵している古文書・古記録等の歴史的資料については、適切な保管を行います。また、重要なものやニーズの高いものについては、順次、デジタル化を進め、ウェブ・サイトで公開します。</p>	<p>①資料の収集・提供 ○資料の収集 【取組】県内自治体職員が集まる機会などを利用し直接協力を依頼するなどして、資料の収集に努めた。 【評価・課題】館への資料の送付が継続的なものとなるよう取組が必要。</p> <p>②貴重資料の保存 【取組】定期的に貴重書庫の環境調査を行うとともに、書庫内の清掃も実施した。 【評価・課題】特に問題は発生していない。</p> <p>③デジタル化資料のウェブ・サイトでの公開 【取組】ウェブ・サイト上の公開目録データ数62,767件(県市の計) 県の資料について、37点の資料をデジタル化した(公開については準備中)。 市の資料について、18,516点をデジタル化し公開した。 【評価・課題】 県の資料について、多くの未整理資料がある。</p>	<p>①資料の収集・提供 ○資料の収集 【取組】年度当初に県市の各所属に寄贈依頼を発信。また県内市町村に対してはFAXで行政資料の寄贈を依頼した。 【評価・課題】館内の市町村行政資料コーナーの認知度が上がっており、県・市町村とも寄贈される行政資料の数が増えてきている。</p> <p>②貴重資料の保存 【取組】定期的に貴重書庫の環境調査を行うとともに、書庫内の清掃も実施した。結果を館内で共有。 【評価・課題】特に問題は発生していない。</p> <p>③デジタル化資料のウェブ・サイトでの公開 【取組】(県)前年度にデジタル化した37点の資料についてはデジタルギャラリーに追加済み、加えて3点の史料の翻刻文を掲載した。 (市)公開した内容のブラッシュアップを行っている。 【評価・課題】 ウェブ・サイトでの公開数が増えていることにより、データの提供の依頼が増えるなど、一定の成果が出ている。 県の資料について、多くの未整理資料があり、目録データの作成は進んでいない。</p>	<p>○昨年度寄贈があったが今年はまだもらってない資料があり、よりきめ細かい確認を行い、電話等による個別の寄贈依頼をしていく必要がある。</p> <p>○トラップ調査の概要や目的について、館内に周知徹底する。</p> <p>○デジタル化した資料を公開するための登録用メタデータの作成を計画的に進める。また、データの作成が円滑に進められるように方法を検討していく。</p>

大項目	中項目	サービス計画本文	平成31年3月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24～3/31のもの (注釈のあるものを除く)	令和元年8月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは4/1～8/31のもの (注釈のあるものを除く)	今後の『改善』(Action) (課題があれば対策を 意識して記入)
2 暮らしや仕事の中でのさまざまな課題解決への支援					
	(1)レファレンス・サービス資料、利用ガイド、連携、PR、職員研修	レファレンス・サービスとは、図書館司書が利用者と一緒に、資料や情報を調べる手伝いをするサービスのことで、「聞いてよかった」と利用者の皆様に満足していただけるよう、調べものをサポートします。「この本は図書館にあるか」といった質問から、暮らしや仕事の中で生じるさまざまな疑問や調べものまで、気軽に問い合わせただけよう、レファレンス専用窓口を2階、3階の各フロアに設け、レファレンス・サービスを提供します。図書館に来られない方に対しては、電話やFAX、メール、郵便に加え、図書館のホームページ上に専用フォームを設け、インターネットでもレファレンスを受け付けます。利用者が、自ら調査・研究を行う際に役立つよう、ブックリストやパスファインダーなどを整備します。また、閲覧席やグループ室など用途に応じたスペースの配置や、館内全てのフロアで無線LANがつながるよう、環境整備も行います。	<p>①資料の収集・提供【再掲】 ○利用者の多様なニーズに応える資料の収集・提供 H30資料購入費 184,148千円（県101,979千円、市82,169千円） うちオーテピア高知図書館分133,963千円（県101,979千円、市31,984千円） *いずれも決算額 《一般図書》 【取組】図書受入55,380冊（購入：41,174冊 寄贈等：14,206冊 H30.4～H31.3月末） 【評価・課題】計画的に購入できた。 《新聞・雑誌》 【取組】新聞・雑誌受入：新聞150紙・雑誌1,509タイトル 雑誌受入12,269冊（うち購入9,085冊、寄贈等3,184冊 H30.4～H31.3月末） 【評価・課題】計画的に購入できた。</p> <p>②利用ガイド ○ブックリストやパスファインダーの作成 【取組】ブックリスト16種類、パスファインダー5種類を作成し、館内やイベント会場で配布したほか、ウェブ・サイトでも公開した。 【評価・課題】テーマを増やすとともに、情報の更新が必要となっていないかなどについて、適宜見直していく必要がある。</p> <p>○ホームページ等によるレファレンスの受付 【取組】レファレンスに関する研修に職員を派遣するなどし、職員のスキルアップを図った。 レファレンス件数：30,041件 国立国会図書館レファレンス協同データベース公開件数：2件 【評価・課題】引き続き職員のスキルアップに努める必要がある。</p>	<p>①資料の収集・提供【再掲】 ○利用者の多様なニーズに応える資料の収集・提供 R元資料購入費 184,364千円（県102,195千円、市82,169千円） うちオーテピア高知図書館分133,865千円（県(市町村支援分含む)102,195千円、市31,670千円） *いずれも予算額 《一般図書》 【取組】図書受入24,466冊（購入：19,842冊 寄贈等：4,624冊 H31.4～R元.8月末） 【評価・課題】非売品等、書店等で購入できない場合もあり支障がある。 《新聞・雑誌》 【取組】新聞・雑誌受入：新聞160紙・雑誌1,579タイトル 雑誌受入5,249冊（うち購入4,030冊、寄贈等1,219冊 H31.4～R元.8月末） 【評価・課題】外国語の新聞・雑誌が少ない。</p> <p>②利用ガイド ○ブックリストやパスファインダーの作成 【取組】館全体ではブックリスト30種類、パスファインダー7種類を作成しており、ウェブ・サイトで公開しているほか、館内やイベント会場で配布している。 【評価・課題】テーマを増やすとともに、内容の更新が必要となっていないかなどをチェックし、適宜見直していく必要がある。</p> <p>○ホームページ等によるレファレンスの受付 【取組】レファレンスに関する研修に職員を派遣するなどし、職員のスキルアップを図った。 レファレンス受付件数：17,998件 国立国会図書館レファレンス協同データベース公開件数：2件 【評価・課題】引き続き職員のスキルアップに努める必要がある。</p>	<p>○取り扱われていない資料を購入するため、契約方法等を検討する。</p> <p>○外国資料のリクエストに積極的に対応するとともに、新しい新聞・雑誌の購入を検討する。</p> <p>○連携機関と協力したブックリストの作成を継続して行う。先進館のものを参考に問い合わせの多いものから新たなパスファインダーの作成に着手する。</p> <p>○職員を研修に派遣するとともに、研修内容を館内で共有し職員全体のスキルアップをはかる。</p>

大項目	中項目	サービス計画本文	平成31年3月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24～3/31のもの (注釈のあるものを除く)	令和元年8月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは4/1～8/31のもの (注釈のあるものを除く)	今後の『改善』(Action) (課題があれば対策を 意識して記入)
(2)課題解決支援サービス					
	①ビジネス・農業・産業支援サービス 資料、利用ガイド、レファレンス、連携、情報リテラシー、アウトリーチ、PR、職員研修	県内で働いている方やこれから働きたい方、起業したい方等に対し、図書館の強みである資料を活用しながら、仕事に関するさまざまな課題解決を支援します。図書館3階の「ビジネス・農業・産業支援スペース」では、6～7万冊の関連資料(自然科学含む)をまとめて配置します。また、利用者が気軽に相談できるようレファレンス・カウンターを設置し、ビジネス支援担当司書が、情報収集や調べものをサポートします。中心市街地に立地し、また、人の集まりやすい図書館の強みをいかして、ビジネスに役立つ講座や学習会、相談会等を専門機関等と連携して開催します。あわせて、図書館が仕事に関する情報収集に役立つということを多くの方に知ってもらうため、出前図書館等を通じて、外に出て積極的に「提案」や「周知」も行います。	<p>①資料</p> <p>○資料の収集・提供 【取組】開架には、図書50,321冊、新聞53紙、雑誌254タイトルを配架している。リクエストや利用者のニーズに応じて本や雑誌を選書、購入した。展示やイベントがきっかけとなり、地元企業の情報資料の収集につながった。また、チラシの館内での配布依頼も増えている。 【評価・課題】引き続き地元企業の情報・資料収集を進める必要がある。</p> <p>○データベースの導入・提供 【取組】外部講師を招いたデータベース講習会(ルール電子図書館(12/13)、ビジネス情報コース×2回(3/8、3/14))を開催し、データベース利用をPRした。 【評価・課題】引き続きデータベースの周知を図り、利用を促進する必要がある。</p> <p>②レファレンス・サービス 【取組】レファレンス件数：2,437件(全体レファレンス件数：30,041件) ブックリスト4種類を作成し、館内やイベント会場で配布したほか、ホームページでも公開した。パスファインダーは2種類を作成中。 【評価・課題】テーマを増やすとともに、情報の更新が必要となっていないかなどについて、適宜見直していく必要がある。</p>	<p>①資料</p> <p>○資料の収集・提供 【取組】開架には、図書53,165冊、雑誌3,790冊を配架している。リクエストや利用者のニーズに応じて本や雑誌を選書、購入した。連携機関からリクエストや推薦依頼があった資料も購入した。書架担当を置き、書架の定期的なチェックを開始した。 【評価・課題】ITコーナーがジャンル別に整理されたことで、利用者が本を探しやすくなった。書架チェックを1年を通して効率的・効果的に行える体制を構築した。</p> <p>○データベースの導入・提供 【取組】契約データベース「聞蔵Ⅱビジュアル」の「全国の地域面」を新しくオプション契約したところ、レファレンスで活用できた。関係機関にデータベースのPRを行った。今年度のデータベース講習会開催についても検討している。 【評価・課題】引き続きデータベースの周知を図り、利用を促進する必要がある。</p> <p>②レファレンス・サービス 【取組】レファレンス件数：1,493件(全体レファレンス件数：17,998件) 高知新聞(7/27)に図書館のレファレンスがビジネスに役立つ事例を紹介する記事が掲載された。4月に作成した「業界・市場動向」のパスファインダーがレファレンスで役に立った。 【評価・課題】新聞記事や図書館PRの効果で「レファレンス」の認知度が上がったと感じている。レファレンスの増加に対し効率よく対応できる仕組みを構築していく必要がある。レファレンスにおける質の向上や時間短縮のため、職員のデータベースの検索技術の向上を図る。</p>	<p>○ITコーナー以外でも、内容、資料の入れ替えなどを検討し、充実を図る。引き続き、各関係機関との連携を深め、収集を強化していく。</p> <p>○データベースの積極的な利用及びデータベース講習会へ参加を呼びかける。</p> <p>○パスファインダーの作成や国立国会図書館レファレンス協同データベースへの登録を進める。分類入りマップを完成させるとともに運用の整理を行い、効率的なレファレンス体制を構築する。</p>

③連携

○他機関と連携したセミナーや相談会等の実施

【取組】アウトリーチ担当と協力して、専門機関や行政機関と、イベント、展示、セミナー、相談会等を11回（うち出前図書館8回）共同実施した。

12/9、3/10「犬・猫の飼い方講習会」での出前図書館、図書館サービスのPR

1/5～2/8「移住×地域展」※関連イベントとして『チェキ撮影会「ときターン!!」であそぼう』を実施（1/6,1/19）

1/5～2/28「放送大学展示」

3/1～3/31「ビジネスプランの磨き方」

3/31高知県森と緑の会による「こうち木育ひろば2019」実施 など

○アウトリーチ・サービスの実施

【取組】アウトリーチ担当を中心に、外に出向いてのサービスPRや関係機関がオーテピアの諸室を利用する機会をとらえ出前図書館やビジネス支援サービスのPRを実施した。

2/6、2/8、2/13高知県商工会連合会地域連絡会議

2/19高知県中小企業家同友会月例会

2/25土佐技術交流会が月例会（データベースの説明含む）

【評価・課題】相談内容に応じてきめ細やかに対応できるよう、より多くの専門機関との関係の構築が必要。

③連携

○他機関と連携したセミナーや相談会等の実施

【取組】共催事業として、若者進路相談会を毎月第2土曜日に実施。また、6/12、6/15に特許商標の検索方法などに関する「知的財産権セミナー」を実施。

【評価・課題】

オーテピアのグループ室を活用し他機関と連携したセミナーができたことは成果だが、参加者が少なかったことが課題。

○アウトリーチ・サービスの実施

【取組】

アウトリーチ担当を中心に、外に出向いてのサービスPRや関係機関がオーテピアの諸室を利用する機会をとらえ出前図書館（11回）やビジネス支援サービスのPRを実施した。

新規採用職員研修（7回）、土佐MBA関連（3回）、犬・猫の飼い方講習会、産学官民コミュニティプレゼン大会など。

【評価・課題】積極的に外部への提案やサービス周知ができた。参加した方から別の場で説明の機会を提供いただく展開もあった。また、出前図書館に対するニーズは前年度より高まっているが、職員の都合がつかず断らざるを得ないこともある。

○セミナー・相談会について、より積極的な広報を行うとともに、貴重資料データの商用利用などについてPRに努める。

○行政機関を通じて行政機関以外へのアプローチを増やし、連携団体を増やしていく。

○出前図書館については、PR効果の高い機会の精査、新規団体を優先する等により、連携をより広げる。

大項目	中項目	サービス計画本文	平成31年3月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24～3/31のもの (注釈のあるものを除く)	令和元年8月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは4/1～8/31のもの (注釈のあるものを除く)	今後の『改善』(Action) (課題があれば対策を 意識して記入)
	<p>②健康・安心・防災情報サービス資料、展示、レファレンス、連携、情報リテラシー、アウトリーチ、職員研修</p>	<p>図書館の3階に、健康(病気の予防・健康の維持増進につながるスポーツなど)や社会保障、社会福祉、防犯、事故、防災等に関する6～7万冊の資料をまとめた専用スペースを設け、暮らしの中で生じる課題から「自分や家族、そして地域を守る」ための知識や情報を提供し、その解決を支援します。 専用スペースには、資料と情報の相談に応じる担当の司書を配置し、図書ばかりでなく、医学文献情報や、新聞記事、法令・判例等のデータベースなど膨大な情報の中から必要と思われる情報を探し出し、提供します。 図書館の資料・情報だけでは解決が難しい場合には、専門機関や団体等を紹介するなどして、課題の解決を支援します。 多くの方が利用する図書館の強みをいかし、専門機関等と連携して、チラシの配布や企画展示の開催等、さまざまな形で情報を発信していきます。</p>	<p>①資料 ○資料の収集・提供 【取組】開架には、図書38,673冊、新聞26紙、雑誌248タイトルを配架している。 【評価・課題】引き続き関連する情報・資料収集を進める必要がある。</p> <p>○データベースの導入・提供 【取組】外部講師を招いたデータベース講習会を2回実施。司書によるデータベース利用PRも併せて実施した。 【評価・課題】引き続きデータベースの周知を図り、利用を促進する必要がある。</p> <p>②レファレンス・サービス 【取組】レファレンス件数：1,697件（全レファレンス件数：30,041件） ブックリスト8種類、パスファインダー3種類を作成し、館内やイベント会場で配布したほか、ホームページでも公開した。 【評価・課題】テーマを増やすとともに、情報の更新が必要となっていないかなどについて、適宜見直していく必要がある。</p>	<p>①資料 ○資料の収集・提供 【取組】開架には、図書38,582冊、雑誌3,039冊を配架している。利用の多い資料は参考図書として複本購入した。 【評価・課題】依頼せずともチラシ類を収集できるようになってきた。視聴覚資料の利用が伸びておらず、アピールする必要がある。</p> <p>○データベースの導入・提供 【取組】データベース講習会の実施は未定。 【評価・課題】レファレンスでデータベースを十分に活用できていない。</p> <p>②レファレンス・サービス 【取組】レファレンス件数：961件（全レファレンス件数：17,998件） ブックリスト1種類を新たに作成。作成済みブックリストやパスファインダーを館内やイベント会場で配布した。 【評価・課題】ブックリストは少しずつ種類を増やすことができている。パスファインダーには時間と手間がかかるため、種類を増やすことが難しい。ブックリストやパスファインダーのいくつかを年度内に改訂する必要はある。</p>	<p>○社会情勢等に留意しながら、利用者のニーズに合った資料の収集に努める。</p> <p>○防災関係など多くのチラシを作成・配布している機関等について、補充等の管理をしてもらえる仕組みを作る。</p> <p>○視聴覚資料の設置場所を表示するなどPRに努める。</p> <p>○様々なレファレンスに対応できるよう、データベースでの検索や情報収集スキル等の向上に努める。</p> <p>○レファレンスの質の向上や時間短縮のため、検索技術の向上を図る。</p>

③他機関と連携したセミナーや相談会等の共催事業の実施

【取組】アウトリーチ担当と協力して、専門機関や行政機関等と、イベント、展示、セミナー、相談会等を26回（うち出前図書館16回）共同実施した。

3/24 第58回高知県医療ソーシャルワーカー協会大会
（参加者数約120人） など

【評価・課題】相談内容に応じてきめ細やかに対応できるよう、より多くの専門機関との関係の構築が必要。

③他機関と連携したセミナーや相談会等の共催事業の実施

【取組】アウトリーチ担当と協力して、専門機関や行政機関等と、イベント、展示、セミナー、相談会等を9回（うち出前図書館4回）共同実施した。

4/14 平成31年度世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間記念映画上映会（参加者数 102名）

6/9 高知市いきいき健康チャレンジ2019スタートイベント など

【評価・課題】

参加した事業では、概ね好評を得ており、次年度も継続して連携を希望する機関も多い。

オーテピア館内でのイベントについて共催依頼が増えたが、すべてを受けるとは業務量的に難しい。共催を受ける基準を整理する必要がある。

○共催基準を整理し、明文化していく。

大項目	中項目	サービス計画本文	平成31年3月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24～3/31のもの (注釈のあるものを除く)	令和元年8月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは4/1～8/31のもの (注釈のあるものを除く)	今後の『改善』(Action) (課題があれば対策を 意識して記入)
	(3)情報リテラシー向上支援サービス講座等、利用ガイド、他の取組との連携	<p>県民・市民が、暮らしや仕事の中で生じるさまざまな課題を解決するために、必要とする情報を有効に収集や整理、評価し、活用することは重要なことです。</p> <p>図書館は、県民・市民が図書や雑誌、新聞、データベースやインターネットなどによる情報を収集や整理、評価し、活用する方法を習得することができる場です。このため、利用者が、情報の探し方を知り、また、得た情報を比較検討し、信頼性のあるものをまとめ、応用していく方法を学ぶ、情報リテラシー向上のためのプログラムを、関係機関と連携し、年代や対象に合わせて実施します。</p> <p>図書館利用に障害のある方に対しては、高知声と点字の図書館等と協力して、取り組みます。</p>	<p>①講座等 ○図書館活用講座の実施 【取組】図書館の活用法や、図書館の蔵書検索、ウェブ・サイト、データベースなどの情報検索、情報収集、著作権に関する知識等を習得するための講座として、「図書館活用講座」を開催した。開催に際してはチラシの配布や館内放送により、利用者の参加を促した。 12/4、1/8、2/5、3/5の計4回実施 延べ受講者数48名</p> <p>○データベース活用講座の実施 【取組】開催に際してはチラシの配布や館内放送により、利用者の参加を促した。アウトリーチ担当から連携機関にイベント案内を行った。 データベース講習会(ルーラル電子図書館) 12/13実施 受講者数16名 データベース講習会(医療健康情報コース/中級～応用編) 2/14、2/28実施 延べ受講者数34名 データベース講習会(ビジネス情報コース/中級～応用編) 3/8、3/14実施 延べ受講者数44名 【評価・課題】引き続き多くの利用者の参加を促すとともに、複数回受講する利用者から「何度も受講すると理解が深まる」という声もあったため、今後も継続して実施する必要がある。</p> <p>②パスファインダーの作成・提供 【取組】ブックリスト16種類、パスファインダー5種類を作成し、館内やイベント会場で配布したほか、ホームページでも公開した。 【評価・課題】テーマを増やすとともに、利用者に分かりやすいか、情報の更新が必要となっていないかなどについて、適宜見直していく必要がある。</p> <p>③職場体験等での実施 【取組】職場体験時には、課題について館内のデータベースや蔵書検索システムを使って調べるといった具体的な方法で行った。 【評価・課題】今後も図書館見学や図書館活用講座においても、よりわかりやすい方法で理解を広めていく必要がある。</p>	<p>①講座等 ○図書館活用講座の実施 【取組】月1回開催している館内ツアー(図書館施設見学)とあわせて「図書館活用ミニ講座」(8月から開始)を実施。今年度8回実施予定。講座内容は、図書館の活用法や、蔵書検索、データベースの利用案内等(30分程度)。開催に際しては、ウェブ・サイトやチラシにより、利用者の参加を促した。 【評価・課題】館内ツアー(図書館施設見学)は、利用者から要望の多かった日曜日開催を8月から実施している。</p> <p>○データベース活用講座の実施 【取組】本年度のデータベース講習会の実施は未定の状況。 【評価・課題】実施に向けての講座内容の検討を早急に行う。</p> <p>②パスファインダーの作成・提供【再掲】 【取組】館全体ではブックリスト30種類、パスファインダー7種類を作成しており、ウェブ・サイトで公開しているほか、館内やイベント会場で配布している。 【評価・課題】テーマを増やすとともに、内容の更新が必要となっていないかなどをチェックし、適宜見直していく必要がある。</p> <p>③職場体験等での実施 【取組】職場体験時には、課題について館内のデータベースや蔵書検索システムを使って調べるといった具体的な方法で行った。 【評価・課題】今後も図書館見学や図書館活用講座においても、よりわかりやすい方法で理解を広めていく必要がある。</p>	<p>○講座参加者のアンケート結果を参考に、利用者からよりニーズの高い項目を盛り込めるよう内容の充実を図る。</p> <p>○昨年度内容の継続実施も含め、今後のデータベース利用促進につながる講座内容を検討する。</p> <p>○先進館のものを参考に問い合わせの多いものから新たなパスファインダー作成に着手する。</p> <p>○具体的に機器を使用するなどして、よりわかりやすく楽しく学習できる工夫を凝らす。</p>

大項目	中項目	サービス計画本文	平成31年3月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24~3/31のもの (注釈のあるものを除く)	令和元年8月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは4/1~8/31のもの (注釈のあるものを除く)	今後の『改善』(Action) (課題があれば対策を 意識して記入)
	(4)行政支援サービス資料、利用ガイド、レファレンス、連携、アウトリーチ	高知県庁と高知市役所が行政運営や政策立案を行う際に必要となる資料や情報の提供等を、積極的に支援します。あわせて、専門的かつ幅広い知識・情報が得られ、「役立つ」ことを知ってもらえるように、広くPRも行います。また、図書館は不特定多数の利用者が定期的に訪れる施設であるという特長をいかして、パンフレットなどの配布や、庁内各機関等と連携した講座・イベントの開催等も行います。	<p>①資料の収集・提供 ○資料の収集 【取組】県内自治体等関係機関へ協力を依頼するとともに情報の収集にも取り組み、資料の収集に努めている。 【評価・課題】依頼しているが思うように収集できていない。依頼した直後は送付があっても、継続的なものにはなっていない。市町村へのパンフレット等送付依頼方法について整理中。</p> <p>○データベースの導入・提供 【取組】外部講師を招いたデータベース講習会を実施（ルーラル電子図書館（12/13）、ビジネス情報コース（3/8、3/14））。データベース利用・行政支援サービスについてPRした。 【評価・課題】利用されていない時間が多いため、データベースの利用促進に一層努める。</p> <p>②パスファインダーの作成・提供 【取組】ブックリスト16種類、パスファインダー5種類を作成し、館内やイベント会場で配布、ホームページで提供している。パスファインダーについては、順次新しいテーマについて作成を進めている。 【評価・課題】引き続き作成を進める。また、利用者に分かりやすいか、情報の更新が必要となっていないか、適宜見直していく。</p>	<p>①資料の収集・提供 ○資料の収集 【取組】県内自治体職員が集まる機会などを利用し直接協力依頼をしている。チラシ・パンフレット等の配布物については、行政向けメールマガジン（Vol.7）などのPRにより収集が進んだ。 【評価・課題】上記取組が功を奏している。館内でのチラシ・パンフレットの配布では、来館者から好評を得ている。</p> <p>○データベースの導入・提供 【取組】契約データベース「聞蔵Ⅱビジュアル」の「全国の地域面」を新たにオプション契約した。今年度以降のデータベース講習会開催については検討中。 【評価・課題】ビジネス系データベースを中心に行政職員の業務使用が増えている。</p> <p>②パスファインダーの作成・提供 【取組】館全体ではブックリスト30種類、パスファインダー7種類（ビジネス2種類、多文化2種類、健康安心3種類）を作成しており、ウェブ・サイトで公開しているほか、館内やイベント会場で配布している。 新たな取組として、県労働委員会事務局職員と協力してブックリストを作成し、双方のホームページで公開したほか、労働委員会事務局窓口でも配布を開始した。 【評価・課題】上述の労働委員会事務局との取組では、連携を密にして、現場ニーズに十分対応したブックリストを作成できた。他の機関からも要望がある。</p>	<p>○引き続き、多様な機会をとらえて関係機関へ周知する。在庫が切れたものは、速やかに再送付を依頼する。</p> <p>○行政職員のニーズにマッチしたデータベースの選定を進め、必要に応じて契約データベースの変更も検討する。</p> <p>○ニーズに沿ったパスファインダー、ブックリストの作成・公開を進める。適宜、情報を更新し充実を図る。</p>

③庁内関係機関等と連携した取り組みの実施

【取組】庁内関係機関と出前図書館、イベント時の関連図書コーナー設置、展示等を行った。

オーテピアのホール等で県市各課室がイベントを行う際に、関連図書コーナーを設置

「地場産業大賞受賞作品展（県産業振興センター）」

「高知商業高校野球部100周年記念パネル展（高知商業高校）」「木育・森づくりパネル展（県林業環境政策課）」など作品展・図書展示を多数実施

【評価・課題】図書館が役立つことのPRについて効率的に実施していく必要がある。

③庁内関係機関等と連携した取り組みの実施

【取組】庁内関係機関と出前図書館、イベント時の関連図書コーナー設置、展示等を行った。

「リサイクル製品認定制度の展示（県環境対策課）」

「第43回紙とあそぼう作品展（県工業振興課）」

「図書館発！高知家のがん征圧月間2019「治療と仕事、病気と子ども」（県健康対策課）」

「知ってますか？がん検診（同上）」

「高知市いきいき健康チャレンジスタート！禁煙週間（市健康増進課）」など

その他、市・人権同和・男女共同参画課など行政機関と連携した展示を引き続き実施予定。

【評価・課題】連携展示については順調に実施できている。出前図書館については依頼が増える一方、都合がつかず謝絶することがある。

○出前図書館については、PR効果の高い機会の精査、新規団体を優先する等により、連携をより広げる。

大項目	中項目	サービス計画本文	平成31年3月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24～3/31のもの (注釈のあるものを除く)	令和元年8月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは4/1～8/31のもの (注釈のあるものを除く)	今後の『改善』(Action) (課題があれば対策を意識して記入)
3	利用者に対応した図書館サービスの充実		<p>①資料の収集 ○基本図書の充実 【取組所蔵冊数】：56,096冊 【評価・課題】計画的に購入できている。</p> <p>②子どもと本を結びつける行事の実施 【取組】 [おはなし会] 延べ94回 参加数：延べ2,066人 [手話でたのしむおはなし会] H31.3.17 参加人数：38人 [国際交流員協力による外国語のおはなし会] 延べ6回 参加人数：延べ398人(うち子ども199人) 【評価・課題】継続して行事を実施している。 読み聞かせやストーリーテリング技術の向上が課題。</p> <p>③保護者やボランティアなどへの読み聞かせなどの普及 【取組】 [楽しみながら学ぶおはなしの連続講座(共催)] 延べ7回 [読書会] 開催回数：延べ7回 参加人数：延べ60人 [ストーリーテリング勉強会] 延べ7回 参加人数：延べ57人 [読み聞かせ体験会] H30.12.6 参加人数：約40人 【評価・課題】子どもの読書活動を理解し普及させる自館主催の講座を行うためには、人材の育成が必要。</p>	<p>①資料の収集 ○基本図書の充実 【取組】所蔵冊数：57,949冊 【評価・課題】計画的に購入できている。 長く読み継がれるべき基本図書を、利用者の目の付きやすい場所に置くことができている。</p> <p>②子どもと本を結びつける行事の実施 【取組】 [おはなし会(主催)] 延べ51回 参加数：延べ812人 [国際交流員協力による外国語のおはなし会] 延べ4回 参加人数：延べ187人(子ども) 【評価・課題】 定期的に開催できている。 参加者からは好評。リピーターも新規の方もどちらも多い。 おはなし会のために読み聞かせの本を選書をしたり、わらべ歌やストーリーテリングの練習をしたり、共催のおはなし会を見学することで、職員の研鑽の場にもなっている。 ストーリーテリングがあまりできていない。</p> <p>③保護者やボランティアなどへの読み聞かせなどの普及 【取組】 [楽しみながら学ぶおはなしの連続講座(共催)] 延べ7回 [読書会] 延べ4回 参加者数：延べ30人 [ストーリーテリング勉強会] 延べ4回 参加者数：延べ34人 【評価・課題】 読書会や勉強会、連続講座には職員もそれぞれ参加しており、職員の研鑽の場にもなっている。 参加者が固定されていることが課題。</p>	<p>○図書は貸出回数が多く傷みやすいため、必要に応じて点検や買い替えを行う。</p> <p>○おはなし会にストーリーテリングを積極的に入れていく。</p> <p>○新規の参加者を獲得する方法を検討する。</p>

(1)児童サービス資料、展示、利用ガイド、レファレンス、行事、普及活動、児童書の選定支援、連携、情報リテラシー、アウトリーチ

児童サービスは、小学生以下の子どもを対象とするサービスです。
乳幼児期や学童期に、絵本や物語に親しむ時間を持ち、読書を通じて得られるさまざまな経験を重ねていくことは、子どもたちの豊かな人格形成のための大きな力となります。
子どもたちが自分自身で図書や紙芝居を手にとってゆっくり楽しめる環境と、感性と知性、社会性を育むことができるような図書や雑誌、紙芝居、新聞等を提供します。また、おはなしコーナーや親子コーナーなどにおいて、「読み聞かせ」や「おはなし会」等も開催します。
絵本の読み聞かせや図書の紹介等は、子どもたちの関心を読書に向ける大きなきっかけになります。そのことが理解され、継続的な取組となるよう、保護者や保育者、教職員等に積極的に働きかけていきます。あわせて、子どもの読書活動を支える人々のための研修会も実施します。
また、子どもやその保護者が利用しやすいように、授乳室や子ども専用トイレなどを設置します。

①資料の収集
○基本図書の充実
【取組所蔵冊数】：56,096冊
【評価・課題】計画的に購入できている。

②子どもと本を結びつける行事の実施
【取組】
[おはなし会] 延べ94回 参加数：延べ2,066人
[手話でたのしむおはなし会] H31.3.17 参加人数：38人
[国際交流員協力による外国語のおはなし会]
延べ6回 参加人数：延べ398人(うち子ども199人)
【評価・課題】継続して行事を実施している。
読み聞かせやストーリーテリング技術の向上が課題。

③保護者やボランティアなどへの読み聞かせなどの普及
【取組】
[楽しみながら学ぶおはなしの連続講座(共催)]
延べ7回
[読書会] 開催回数：延べ7回 参加人数：延べ60人
[ストーリーテリング勉強会] 延べ7回 参加人数：延べ57人
[読み聞かせ体験会] H30.12.6 参加人数：約40人
【評価・課題】子どもの読書活動を理解し普及させる自館主催の講座を行うためには、人材の育成が必要。

①資料の収集
○基本図書の充実
【取組】所蔵冊数：57,949冊
【評価・課題】計画的に購入できている。
長く読み継がれるべき基本図書を、利用者の目の付きやすい場所に置くことができている。

②子どもと本を結びつける行事の実施
【取組】
[おはなし会(主催)] 延べ51回 参加数：延べ812人
[国際交流員協力による外国語のおはなし会]
延べ4回 参加人数：延べ187人(子ども)
【評価・課題】
定期的に開催できている。
参加者からは好評。リピーターも新規の方もどちらも多い。
おはなし会のために読み聞かせの本を選書をしたり、わらべ歌やストーリーテリングの練習をしたり、共催のおはなし会を見学することで、職員の研鑽の場にもなっている。
ストーリーテリングがあまりできていない。

③保護者やボランティアなどへの読み聞かせなどの普及
【取組】
[楽しみながら学ぶおはなしの連続講座(共催)]
延べ7回
[読書会] 延べ4回 参加者数：延べ30人
[ストーリーテリング勉強会]
延べ4回 参加者数：延べ34人
【評価・課題】
読書会や勉強会、連続講座には職員もそれぞれ参加しており、職員の研鑽の場にもなっている。
参加者が固定されていることが課題。

○図書は貸出回数が多く傷みやすいため、必要に応じて点検や買い替えを行う。

○おはなし会にストーリーテリングを積極的に入れていく。

○新規の参加者を獲得する方法を検討する。

④児童書の選定支援

【取組】コーナー利用実績：利用件数延べ22件75人
高知県学校図書館協議会の広報紙への掲載。
県内3か所の教育事務所でのPRを実施した。
閲覧スペースが狭いという問題があったが人数が多い場合は他の空いているスペースを利用してもらうようにした。また、事前申し込みが必要だったが、当日申し込みも可とし、利用しやすくなるよう工夫を行った。

【評価・課題】来館が困難な遠隔地域の市町村立図書館や学校図書館へのサービスを実施する必要がある。

④児童書の選定支援

【取組】コーナー利用実績：利用件数延べ15件34人
引き続き毎月新刊見本図書を購入している。
高知県学校図書館協議会と連絡を取り合い、選定支援コーナーのPRを行った。
昨年度購入（4月～9月）した選定支援用の資料を10月から県内3か所の市町村立図書館で巡回展示するため準備を開始した。

高知市認可保育園、高知県内幼稚園の園長会等で、選定支援コーナーのPRを行った。

【評価・課題】

選定支援コーナーの利用を促進する必要がある。

○受け入れして3年目の新刊見本図書の取扱いを検討する。
引き続き選定支援コーナーのPRに努める。

大項目	中項目	サービス計画本文	平成31年3月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24~3/31のもの (注釈のあるものを除く)	令和元年8月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは4/1~8/31のもの (注釈のあるものを除く)	今後の『改善』(Action) (課題があれば対策を 意識して記入)
	(2)ティーンズ・サービス 資料、展示、利用ガイド、普及活動、連携、情報リテラシー、PR	<p>10代の若い人たちにとって、読みやすい本、読みたくなる本、学校での学習内容を深められるような本、進路選択に役立つ本等を集めて、利用しやすいようにティーンズ・コーナーを設置し、提供します。</p> <p>また、中学生・高校生だけでなく、働いている10代の若者が、読書を通じて継続して学習ができるような本や、不登校等で悩む人にとって力となるような本も提供します。</p> <p>ティーンズ・コーナーに隣接した防音仕様のグループ室では、グループでのディスカッションなどができます。</p> <p>読書を習慣化させ、生涯にわたって学習や仕事で役立てることができるようなイベントやPR活動等もあわせて実施します。</p>	<p>①資料 ○ティーンズ・コーナーの設置・提供 【取組】所蔵冊数：約8千冊 ティーンズの興味・関心に応える本、学習内容を深めることのできる本等を収集し提供した。 【評価・課題】計画的に購入できている。 ○学校案内等の収集・提供 【取組】県内の高校や専門学校の学校案内に関する資料を収集した。 【評価・課題】大学については、引き続き取り組む必要がある。</p> <p>②ブックリストの作成・提供 【取組】食育に関するイベントと連動してブックリストを作成し、館内やイベント会場で配布、ウェブ・サイト上で提供した。パスファインダーは準備中。 【評価・課題】新たなブックリスト及びパスファインダーの作成を進める必要がある。</p> <p>③イベントの開催 【取組】ティーンズコーナーの展示架において、平成27年から30年までの4年間、高知市立愛宕中学校の読書部員等が毎年100冊ずつ選び抜いた本の展示を行った。 【評価・課題】引き続きイベント等の開催に取り組む。</p>	<p>①資料 ○ティーンズ・コーナーの設置・提供 【取組】所蔵冊数：約8千冊 ティーンズの興味・関心に応える本、学習内容を深めることのできる本等を収集し提供した。 【評価・課題】計画的に購入できているが、業務が多忙なため、選書時間が十分に取れないことがある。 学生の来館者数は増加傾向にあるが、来館した学生をどう読書へつなぐかが課題である。</p> <p>○学校案内の収集・提供 【取組】各学校へ依頼文を出し、収集を行っている。 【評価・課題】今年度から新たに収集を開始した県内大学等については、7校のうち半数が届いており、ティーンズコーナーにて提供している。</p> <p>②ブックリストの作成・提供 【取組】情報リテラシーに関するブックリストを作成し、ティーンズコーナーで配布、ウェブ・サイト上で提供した。 【評価・課題】ブックリストに掲載した本を、夏休み期間中ティーンズコーナーに展示したところ、よく貸出しされた。</p> <p>③イベントの開催 【取組】主催イベント「高校生ビブリオバトル」今年度の開催に向けて準備中。 なお、今年は新たに手話通訳士を手配する。より多くのティーンズへ情報発信するため、広報手段も多様化させる。 【評価・課題】順調に準備作業が進んでいる。</p>	<p>○ティーンズコーナーやその周辺の展示を工夫する。</p> <p>○引き続き収集提供を行う</p> <p>○今後も展示と連動させてブックリストを作成・提供していく。</p> <p>○紙媒体、ブログ、facebookなど、色々な手段で適宜広報する。</p>

④PR誌の発行

【取組】定期的にティーンズ通信を発行し、提供している。

【評価・課題】誌面に掲載するイラストの募集には複数の応募があった。

読書の楽しみや図書館の活用につながるように、誌面の内容について検討が必要。

④PR誌の発行

【取組】定期的にティーンズ通信を発行し、提供している。

紙面に掲載するイラストを募集しており、現在までに15件の投稿があった。

今年度は、職場体験学習生が作成したポップの掲載も行った。

【評価・課題】PR誌の発行はできており、作品投稿も増えつつあるが、ティーンズ世代の記事の作成・編集には至っていない。

○今後もティーンズ通信を継続して発行し、県内のティーンズへ記事の投稿を呼びかける。

大項目	中項目	サービス計画本文	平成31年3月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24～3/31のもの (注釈のあるものを除く)	令和元年8月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは4/1～8/31のもの (注釈のあるものを除く)	今後の『改善』(Action) (課題があれば対策を 意識して記入)
	(3)多文化サービス資料、展示、利用ガイド、普及活動、連携、職員研修等	<p>県内には、日本語以外の言語を使用する人や、日本語で会話はできても文字を読むことが難しいといった人等も生活しています。</p> <p>このため、図書館では、日本語を学習するための資料だけでなく、言語による情報の格差に配慮して、地域で生活するためのさまざまな情報や知識を提供していく必要があります。</p> <p>図書館の3階には、外国語で書かれた図書や雑誌、語学に関する図書等をまとめたコーナーを設置するとともに、異文化を知るきっかけとなり、本県に住む外国人の生活に役立つ展示を行います。</p> <p>また、地域で生活する外国の方との交流や相互理解につながるよう、外国語絵本の読み聞かせや、おはなし会、外国の文化に関する講演会等も実施します。</p>	<p>①外国語で書かれた各種資料の収集提供 【取組】外国語で書かれた図書や雑誌、新聞、県内外の公的機関の外国語版リーフレットの収集を行った。 また、外国語資料のリクエスト、問い合わせに積極的に対応するとともに、次年度から新たに購入する雑誌、新聞についても検討した。 資料が探しやすくなるよう、外国語の書誌ルールを調整した。 図書館利用案内、サービス案内チラシ(2種)の多言語版[英・韓・中(繁体/簡体)の4言語]を作成するとともに、Webサイトも4言語の多言語ページを作成した。 多文化サービスを周知するため、利用案内等の配布先を調査した。 パスファインダーは2種作成・配布、HPへ掲載した。</p> <p>【評価・課題】所蔵のない言語の雑誌・新聞の収集が必要。 多言語で作成している利用案内を効果的に活用するため、外国人が利用するより多くの場所で配布していく必要がある。</p> <p>②各種催しなどの開催 【取組】独立行政法人国際協力機構(JICA)との連携展示(パネル展示/図書展示)や、国際交流員と共同で外国語のおはなし会(未就学児の部、小学生の部)の開催など外国語の文化にふれる機会を提供した。関係団体が主催する館内イベントにおいて、多文化サービスの紹介や出前図書館の実施、多文化ブックリストの配布を行った。 [展示例] 9/11～10/18「JICA青年/シニア海外協力隊募集写真展」 11/17～1/17「ことば～あなたの想いをおくる～」 1/19～3/14「世界のこどもたち～いま、私にできること～」 [HELLO WORLD～外国語のおはなし会～] 延べ6回 参加人数：延べ398人(うち子ども199人) [グローバルリーダー育成フォーラム(主催：JICA四国、高知県国際交流協会 など)] H31.3.10 参加人数：110人</p>	<p>①外国語で書かれた各種資料の収集提供 【取組】外国語のおはなし会に関係する言語の絵本の収集や所蔵の少ない言語資料の選書、リクエストへの対応を行った。また、新たに雑誌、新聞延べ6タイトルを追加し、収集した。引き続き新しい新聞・雑誌の購入を検討していく。 利用案内の提供にあたっては、高知市中央窓口センター外国人登録窓口等に新たに配置した。 【評価・課題】各言語の参考書が古くなっているものがある。また、県内在留外国人の母語資料について十分でないものがある。</p> <p>②各種催しなどの開催 【取組】国際交流員と共同で行う「HELLO WORLD～外国語のおはなし会」(毎月開催、4～8月延べ202名参加)や、NPO法人と共催で行う「English Nook～親子でたのしむ英語じかん～」(新規事業。今年度5回実施予定、7月は57名参加)の開催など外国の文化にふれる機会を提供した。また関係団体が主催する館内イベントにおいて、多文化サービスの紹介や出前図書館の実施、多文化ブックリストの配布を行った。</p> <p>[6/22 アフリカの今を知る(主催：JICA四国)] 参加人数：約130人 [8/13 JICA&高知県南米日系研修員との1dayセミナー(主催：高知県青年国際交流機構、高知希望工程基金会)] 参加人数：54人</p>	<p>○各国語の参考書について買い替え等を順次行い、新鮮な資料の提供に努める。現在所蔵のない言語の雑誌、新聞を購入する。</p> <p>○多文化サービスの周知のため、大学等を通じて留学生などに配布するなど、利用案内の配布先を調べ、提供する。</p> <p>○各行事の開催を通じて図書館において異文化を知り、国際交流のきっかけとなる機会の提供を引き続き行う。</p>

【評価・課題】 行事を通じて関係団体と積極的に連携し、情報収集するとともに、展示や各行事などにより世界の文化を知る機会の提供ができた。

担当職員だけではマンパワーが不足しており、より効率的に展示を実施していくにはボランティア活用の検討も必要。

【評価・課題】 今年度からHELLO WORLDに高知市に加え、高知県の国際交流員も参加している。

行事を通じて関係団体とも積極的に連携し、情報収集するとともに、各行事などにより国際交流の機会の提供ができた。

大項目	中項目	サービス計画本文	平成31年3月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24～3/31のもの (注釈のあるものを除く)	令和元年8月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは4/1～8/31のもの (注釈のあるものを除く)	今後の『改善』(Action) (課題があれば対策を 意識して記入)
	(4)図書館利用に障害のある人へのサービス資料、各サービス、ボランティア、PR、アンケート、職員研修	<p>図書館では、視覚・聴覚障害など文字情報の利用が困難な人や、高齢、病気、その他の理由等により来館が困難な方を図書館利用に障害のある人と考え、これらの人々に配慮したサービスを提供するとともに、サービスを活用していただくためのPRを積極的に行います。</p> <p>障害のある人と図書や情報を積極的につなぐため、多様な資料やサービス手段、コミュニケーション手段、ユニバーサル・デザインの考えに沿った利用しやすい環境を整え、「だれにでも」「やさしく」利用できる図書館を目指します。</p> <p>併設する「高知声と点字の図書館」では、点訳や音訳の資料等、著作権法により利用者が制限される資料を、一方、「オーテピア高知図書館」では、市販の資料を収集することで、重複することなく効率的に資料を収集します。また、両館どちらの窓口でも、双方の資料の貸出し手続きが行えるなど、一体的な運用を行います。</p>	<p>①資料 ○バリアフリー資料の収集・提供 【取組】引き続き、大活字本、LLブック、さわる絵本などバリアフリー資料を積極的に購入した。 【評価・課題】資料の充実を図る必要がある。</p> <p>②各サービス ○来館が困難な方への宅配貸出サービスの実施 【取組】引き続き、サービスを提供した。 【評価・課題】開館後21名の新規登録につながった。</p> <p>○対面音訳サービスの実施 【取組】高知声と点字の図書館と連携して実施している。 ・開館後の両館合わせた対面音訳室の利用は835件（うち登録ボランティア利用797件） 月平均利用回数は102件（うち登録ボランティア利用97件。登録ボランティア利用前年度実績76件） 【評価・課題】前年度に比べ月平均の利用回数は20件以上増えている。</p> <p>○イベント等の開催 ・手話によるお話し会（H31.3.17実施 38人） ・高知みらい科学館主催のサイエンスフェスタへのブース出展（ブース立寄り者数 H31.1.13 室戸市28人、H31.2.10 黒潮町 92人）</p>	<p>①資料 ○バリアフリー資料の収集・提供 【取組】大活字本、LLブックは全点を購入している。 【評価・課題】LLブックについては、認知度が低いため、PRの強化が必要。</p> <p>②各サービス ○来館が困難な方への宅配貸出サービスの実施 【取組】引き続き、サービスを提供した。 新規申込:2名 利用件数:28件 利用冊数:138冊 利用者の高齢化など健康上の利用で3名が休止。 【評価・課題】新規利用者もあるが、まだ認知度が低い。</p> <p>○対面音訳サービスの実施 【取組】実施回数:517回(うち登録ボランティア利用487件)。 9月に対面音訳ボランティア養成講座を実施予定。 【評価・課題】レファレンスや相互貸借も対応している。利用者が固定している。</p> <p>○イベントの開催 ・手話で楽しむおはなし会(R元.9.29) ・バリアフリー映画(字幕、副音声)の上映会の開催(R元.9.29) 【評価・課題】手話通訳の人材が必要。聴覚障害者協会に相談するなど、連携・協力関係ができた。</p>	<p>○案内チラシやブックリスト等を作成し、収集した資料の利用を促進する。 さくらバリアフリー文庫を利用してバリアフリー資料を広くPRする。</p> <p>○イベント等の機会にPRに努める。</p> <p>○引き続きサービスを提供していく。 対面音訳サービスのチラシを作成し、広くPRする。</p> <p>○手話通訳を依頼する予算を確保する。</p>

○さくらバリアフリー文庫（※）の団体貸出

【取組】バリアフリー資料の普及・啓発のために、県内市町村立図書館に団体貸出をした。（土佐市、南国市）

【評価・課題】市町村立図書館との連携が進んだ。さらに多くの館に貸出をしていく必要がある。
※さくらバリアフリー文庫……大活字本、LLブック、録音図書などをセットにしたもの。読書が困難な方でも読書を楽しめる様々な資料があることを知ってもらうことを目的に、市町村図書館コーナーで展示してもらう。

③ボランティア

○ボランティアの養成、スキルアップ講習会等の開催

【取組】高知声と点字の図書館と連携して実施した。

- ・対面音訳ボランティア養成講座（H31.1.20 39名）
- ・ボランティアスキルアップ研修会（H31.3.15 38名）

【評価・課題】養成講座参加者は前年度比7名増となった。（前年度実績32名）。今後は研修内容の充実も必要。

○団体貸出（さくらバリアフリー文庫）の実施

【取組】昨年度と同様に、県内市町村立図書館に貸出した（香美市、佐川町、越知町、日高村）。また、高知声と点字の図書館と連携し、施設等への団体貸出をした。新規登録団体：4件。定期的に貸出しを継続している。

【評価・課題】高知声と点字の図書館と連携を始めたことにより、新たな貸出先の登録があり、定期的な貸出しに繋がっている。

③ボランティア

○ボランティアなどの養成、スキルアップ講習会等を実施

【取組】対面音訳ボランティア養成講座（全4回）を高知声と点字の図書館と連携して9月以降に実施予定。

- ① 講座 9/7(土) 9:45～12:00
- ② 講座 9/15(日)10:00～16:00
- ③ 実践研修
- ④ 対面見学

【評価・課題】対面音訳に必要なスキル不足や活動時間の制約から依頼に繋がらないボランティアがいる。今後は質の高いボランティアが養成できるよう整理が必要。

○団体貸出を広くPRする。

○スキルアップ研修を11/16（土）に開催予定。
養成講座、スキルアップ研修ともに利用者のニーズに合った対面音訳ができるよう研修内容を見直す。

大項目	中項目	サービス計画本文	平成31年3月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24～3/31のもの (注釈のあるものを除く)	令和元年8月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは4/1～8/31のもの (注釈のあるものを除く)	今後の『改善』(Action) (課題があれば対策を意識して記入)
4	連携・支援及び図書館の活用	<p>(1)市町村立図書館等への支援(県立図書館機能) 人的支援、物的支援、アウトリーチ、PR</p> <p>県民がそれぞれの地域で、読書し、役立つ情報が得られる環境を整えます。 東部・中央・西部の各ブロックの担当職員を配置し、各市町村立図書館等の状況に応じた支援を行うほか、物流サービスの充実や、移動図書館の運行等により、市町村立図書館等と連携・協力して、県内全域の読書環境と情報環境の充実に努めます。 あわせて、住む場所に関わらず、県民が等しく、必要な図書館サービスが受けられるよう、遠方からでも市町村立図書館等を通して県立図書館の本を利用できることや、一般的には購入が難しい専門図書やデータベースが利用できることなど、サービスについて周知を図ります。</p>	<p>①人的支援 ○巡回訪問や依頼訪問等による支援 【取組】巡回訪問：31市町村延べ69回実施 依頼訪問：5市町村延べ6回実施 【評価・課題】継続的に実施し、市町村職員との関係を強化していく必要がある。</p> <p>○研修の実施 【取組】ブロック別研修会(3会場41名参加)、連続講座(2会場×2回 94名参加)の開催、県立図書館の職員を派遣する「どこでも研修」(4市町6回41名参加)の実施。オーテピア高知図書館職員研修への市町村職員の受入れ。 【評価・課題】どこでも研修を受講し資料組織の見直しを実施した図書館があるなど、特に図書館未設置町村や環境整備が不十分な図書館に対する効果が期待できるため、今後も継続する必要がある。</p> <p>②物的支援 ○市町村のニーズに応える資料の収集・提供 【取組】課題解決に資するテーマを中心に貸出セットを20セット作成した。 【評価・課題】従前からニーズの高いテーマ(趣味関係等)と、今後、取り組みを進めたい課題解決に関連するテーマのバランスを考えながら収集・提供していく必要がある。またサービスの更なる周知も必要である。</p>	<p>①人的支援 ○巡回訪問や依頼訪問等による支援 【取組】巡回訪問：32市町村延べ69回実施 依頼訪問：2市町村延べ2回実施 職員の図書館巡回のほか、館長や生涯学習課を同行して教育委員会への訪問を行い、各市町村の状況確認やサービス説明を行った。 【評価・課題】年度の早い段階で担当者と顔合わせができたことで、その後の相談につながりやすくなっている。</p> <p>○研修の実施 【取組】ブロック別研修会(3会場58名参加)の開催、県立図書館の職員を派遣する「どこでも研修」(2市町各1回10名参加)の実施、オーテピア高知図書館職員研修(図書館サービス研修「基礎・総合編」)への市町村職員の受入れ(25名参加)。 【評価・課題】研修講師となる職員の育成が必要。研修の企画、調整が計画的に実施できていない。</p> <p>②物的支援 ○市町村のニーズに応える資料の収集・提供 【取組】購入冊数 3,182冊 移動図書館用 2,589冊 協力貸出用 593冊 選定支援用に全点購入している児童書を市町村でも活用できるように、県内3ブロックで巡回展示を企画した。 【評価・課題】巡回展示のPR及び利用状況の把握</p>	<p>○新館整備中の市町村に対する重点的な業務支援や情報収集を実施する。</p> <p>○県外研修等を積極的に受講する。 中堅司書が研修講師を行う機会を増やす。 研修体系の整理や研修の年間計画の検討が必要。</p> <p>○巡回展示の実施(2021年1月まで)と利用状況を検証する。 巡回終了後の活用方法を検討する。</p>

○物流便による資料の配送

【取組】サービスチラシを作成し、オーテピア利用者への配布・物流サービス対象施設への送付を行った。

物流取扱い冊数：99,019冊

【評価・課題】オーテピアで借りた資料を返却するために地元の市町村立図書館へ足を運ぶ利用者が増加しており、これを市町村立図書館での貸出利用へとつなげる必要がある。

③PR

○広報誌への掲載等

【取組】市町村の広報誌や図書館だよりへの掲載について協力を働きかけた。

【評価・課題】広報誌等への掲載についてさらに働きかけるなど、継続的な広報が必要である。

○物流便による資料の発送

【取組】物流サービスポイントを市町村・大学で計2か所増やし、利便性の向上を図った。

物流取扱い冊数：49,889冊

【評価・課題】配送費の確保。市町村立図書館の負担増（作業量、配送用物品等）。遠隔地返却利用者を、市町村立図書館の利用につなげる必要がある。

③PR

○広報誌への掲載等

【取組】巡回訪問や研修会等の機会に、サービスチラシの活用や住民への広報の働きかけを行った。

【評価・課題】定期的に広報を行うなど、継続的な広報が必要である。

○遠隔地返却が急増している市町村に対する物品等の補填を検討する。

○継続的な広報を行うとともに、効果的なPRを検討する。

大項目	中項目	サービス計画本文	平成31年3月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24～3/31のもの (注釈のあるものを除く)	令和元年8月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは4/1～8/31のもの (注釈のあるものを除く)	今後の『改善』(Action) (課題があれば対策を意識して記入)
	(2)高知市全域サービスの拠点(市民図書館機能)利用ガイド、レファレンス、連携、PR、職員研修	市民図書館は、「すべての市民のための図書館」、「市民の生活の中に読書を、図書館を」を方針に、地域に密着した図書館でありつづけていと考えています。高知市内には、オーテピア高知図書館のほか、6つの分館、15の分室があり、2台の移動図書館の運行も合わせて、高知市内全域で図書館サービスを展開しています。県立図書館、市民図書館の図書館資料は、物流便で、ご希望の分館・分室まで届けることができます。また、児童の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を支えられるように、高知市内の小・中・義務教育・特別支援学校との連携を積極的に行います。	<p>①ブックリストやパスファインダーの作成【再掲】 ○ブックリストやパスファインダーの作成 【取組】ブックリスト16種類、パスファインダー5種類を作成し、館内やイベント会場で配布、またホームページで公開した。 【評価・課題】引き続き作成を進める。また、利用者に分かりやすいか、情報の更新が必要となっていないか、適宜見直していく。</p> <p>②学校・学校図書館等との連携 【取組】分館による地域の小・中学校での読み聞かせや、ブックトークなど読書支援活動が継続実施されている。 平成30年度実績 貸出冊数 11,938冊 分館・分室での貸出団体件数 154件 【評価・課題】セット貸出しの種類の充実が必要。</p> <p>③PR ○分館・分室の周知 【取組】オーテピア館内での分館・分室情報の掲示・チラシ配布。 【評価・課題】オーテピアでの新規登録者に対し分館・分室も利用できることの説明の徹底。</p> <p>○移動図書館の周知 【取組】ホームページ上の移動図書館ページへのリンクボタンを見やすい位置に移動させた。 【評価・課題】ホームページ以外での周知が必要。</p>	<p>①ブックリストやパスファインダーの作成【再掲】 ○ブックリストやパスファインダーの作成 【取組】本館で作成したブックリスト30種類、パスファインダー7種類をウェブ・サイトで公開している。 【評価・課題】分館分室への周知徹底が不十分である。</p> <p>②学校・学校図書館等との連携 【取組】分館による地域の小・中学校での読み聞かせや、ブックトークなど読書支援活動が継続実施されている。団体貸出セットの一部の内容更新を行った。 【評価・課題】団体貸出セットは、利用状況の偏りがある。全く動きのないセットは見直しが必要。</p> <p>③PR ○分館・分室の周知 【取組】オーテピア館内での分館・分室情報の掲示・チラシ配布。ウェブ・サイトで分館・分室イベント情報掲載。新規登録者に対し、分館・分室の利用案内を徹底。地域団体の図書館見学時にも利用案内している。 【評価・課題】分館・分室発行の広報リーフレット等の集約に努め、さらなる情報発信の促進につなげる。</p> <p>○移動図書館の周知 【取組】ウェブ・サイトや利用案内での紹介 【評価・課題】移動図書館の利用促進にあたっては、車両の老朽化が課題</p>	<p>○業務協議研修会の際に、ブックリストやパスファインダーを配布し、活用の促進を図る。</p> <p>○学習指導要領等の改訂に合わせ、教科書の単元学習に役立つ資料の選定、セットの充実に取り組む。また、ニーズに合った資料提供ができるように、学校現場等との意見交換に努める。</p> <p>○今後も周知に向けて、効果的なPRに努める。</p> <p>○移動図書館車両の購入の検討を進める。</p>

大項目	中項目	サービス計画本文	平成31年3月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24～3/31のもの (注釈のあるものを除く)	令和元年8月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは4/1～8/31のもの (注釈のあるものを除く)	今後の『改善』(Action) (課題があれば対策を意識して記入)
	(3)県立学校図書館等との連携・協力（県立図書館機能） 協力、アウトリーチ、PR	<p>子どもたちが、読書の習慣や資料を活用して学ぶ力を身につけるためには、早い段階から図書館等を活用することが有効であり、学校図書館の役割は重要です。</p> <p>オーテピア高知図書館では、市民図書館と県立図書館とが役割分担し、高知市立学校へのサービスは市民図書館が、県立学校等へのサービスは県立図書館が、学校図書館と連携しながら行います。</p> <p>県立図書館は、県立学校等に対して、要望のあったテーマに応じた資料のまとめ貸しやレファレンスなどの協力をを行い、子どもたちの学びを支えます。また、学校図書館の要望に応じて、運営やサービスの充実に向けた支援、必要な情報の提供等も行います。</p> <p>なお、高知市以外の市町村立学校は、各市町村立図書館等を通して県立図書館が支援します。</p>	<p>①学校図書館の要望に応じた資料のまとめ貸し 【取組】 高校生を対象とした内容の貸出セットの作成を始めた。 貸出実績：12校322冊</p> <p>【評価・課題】 ティーンズ向けの協力貸出用資料が少ない。 県立学校（高校）図書室の利用実態やニーズを把握したうえで、資料収集への反映や提供方法の検討を行う必要がある。</p> <p>②サービスの周知 【取組】 サービスの周知を図るため、県立学校を所管する高等学校課と学校訪問について協議を行い、連携して取り組みを行うこととした。 【評価・課題】 訪問にあたっては、時期を考慮するとともに、学校（図書館）側のニーズをしっかりと把握する必要がある。</p>	<p>①学校図書館の要望に応じた資料のまとめ貸し 【取組】 学校訪問により、ニーズの聞き取りを行った。 貸出セットの貸出 貸出実績：14校（私立含む） 331冊</p> <p>【評価・課題】 各校で学校図書館に求められる役割が大きく異なっており、提供する資料の内容や提供方法について十分な検討が必要であることが確認できた。 現在、物流サービスの対象ではない高知市内校、私立校への対応を検討する必要がある。 訪問を実施した学校から、貸出依頼等の反応があった。</p> <p>②サービスの周知 【取組】 主任学校司書が配置されている高校を訪問し、協力貸出の説明や、学校図書館の利用状況やニーズ等の聞き取りを行った。 訪問校：4校 県立高校校長会、副校長会において、サービス説明を実施した。利用マニュアルの作成と配布を行った。</p> <p>【評価・課題】 学校訪問を継続しニーズをしっかりと把握するとともに、学校司書や司書教諭へのサービスの周知が必要である。</p>	<p>○物流サービス拡充のため、配送費の予算要求を行う。防災や部活動、生徒や教員の息抜きになる資料など、どの学校でも需要がありそうなテーマを中心にセットを作成する。</p> <p>○実業高校や読書環境が厳しいと考えられる小規模校への訪問も行う。</p> <p>○引き続き学校訪問を行いニーズの把握に努めるとともに、校長会以外にもいろいろな機会をとらえてサービスのPRを行う。</p>

大項目	中項目	サービス計画本文	平成31年3月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24～3/31のもの (注釈のあるものを除く)	令和元年8月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは4/1～8/31のもの (注釈のあるものを除く)	今後の『改善』(Action) (課題があれば対策を意識して記入)
	(4)中心市街地活性化への寄与・周辺施設との連携 中心市街地活性化への寄与、周辺施設との連携	オーテピア高知図書館の持つ、図書館資料や情報、司書の専門性、利用しやすい場所といった資源を活用しながら、地元商店街等と連携・協力した取組を行うことにより、中心市街地活性化に寄与します。また、産学官民連携センターや県立大学永国寺キャンパス、高知城歴史博物館等の周辺施設との連携・協力した取組を行うことにより、お互いに持っている強みや機能をさらに充実・強化し、互いの施設の利用促進や情報発信等につなげていきます。	<p>①中心市街地活性化への寄与</p> <p>○商店街や日曜市等の情報発信 【取組】平成31年12月から、高知市公式Webサイト中「おまちと商店街のイベント予定」（市商工振興課とりまとめ）にてオーテピアでのイベント情報を発信中。 【評価・課題】継続した取組にする必要がある。</p> <p>○商店街との協働 【取組】新年度5月開催の「得する街のゼミナール」（まちゼミ）への参加にむけて準備を行った。今回から高知みらい科学館、オーテピア声と点字の図書館も参加。関連展示も早めに実施する。 「カフェ読」（利用者に本を借りてもらい、商店街のカフェなどで読書をしてもらう取り組み）について企画案を作成し、各関係機関と検討を進めている。各機関と関係が構築できたため、各種会合への相互参加も予定している。 「まちなか図書館」（商店街の店舗に図書館の本を貸し出し、来店者等に広く利用してもらう取り組み）については、協働できる仕組みを検討していく。 宿泊施設への団体貸出については、関係団体への説明時期を検討中。 【評価・課題】「カフェ読」「まちなか図書館」「宿泊施設への団体貸出」とも、実施するにあたっての課題の洗い出しが必要。</p> <p>②周辺施設との連携</p> <p>○文化施設との連携 【取組】高知城歴史博物館や文学館が実施する企画展示に関連した本の展示等を館内で実施。また、周辺文化施設のイベントチラシやポスターの掲示による情報発信も実施。 『2019年度お城下文化手帳』を作成中。 【評価・課題】連携した取組は行っているが、互いの施設の利用促進にまでは至っていない。</p>	<p>①中心市街地活性化への寄与</p> <p>○商店街や日曜市等の情報発信 【取組】高知市公式Webサイト中「おまちと商店街のイベント予定」にてイベント情報の発信を継続。日曜市や商店街イベントのチラシやパンフレットを希望に応じて館内に設置している。 【評価・課題】Webを見ない方にはイベント情報が伝わらない。</p> <p>○商店街との協働 【取組】第12回得する街のゼミナール「津波からのサバイバル！館長からの挑戦状」イベントを実施（参加者数 5/4：31名、5/11：29名）。11月のまちゼミ企画を検討中。 第45回土曜夜市に出店（7/6）。図書館くじ、短冊作りイベントを実施（くじ配布数：1,206枚）。 【評価・課題】まちゼミ全体の受講者数が、H28以降最多であったことについて、メディア掲載に加えオーテピアでのチラシ配布が効果的であったとの評価を得た。 土曜夜市の図書館くじは好評で次年度以降も実施したいが、列に並ぶ人数が多くなり対応の検討が必要。</p> <p>②周辺施設との連携</p> <p>○文化施設との連携 【取組】高知城歴史博物館や文学館が実施する企画展示に関連した本の展示等を館内で実施。周辺文化施設のイベントチラシやポスターの掲示による情報発信を実施。お城下ネット6施設の概要とイベントを掲載した『2019年度お城下文化手帳』を作成、配布。高知城歴史博物館の企画展示関連イベントとして、高知城歴史博物館、高知みらい科学館とともにスタンプラリーを実施（6/29～9/2）。 【評価・課題】上記スタンプラリーについては、当館展示室への入室者の大幅な増につながった。</p>	<p>○より多くの方に情報を届けるため、プリントアウトしたイベント情報の掲示や、当館Webサイト・SNS等での発信も検討する。</p> <p>○引き続き、魅力のあるイベントを企画していくとともに、チラシ配布等、まちゼミPRを積極的に行う。 土曜夜市の図書館くじの運営方法を検討する。 （商店街との連携の一環として、商店街の店舗にリクエスト箱を設置し、利用者ニーズを把握する。）</p> <p>○今後も周辺文化施設と積極的に連携し、相互の利用促進につなげる。</p>

○教育・産業支援施設との連携

【取組】「おためしMBA」での司書による相談窓口の設置や、講座に合わせたブックリストの提供など、令和元年度でのさらなる連携を検討中。

【評価・課題】教育・産業支援施設と連携した課題解決支援につながる支援を継続する必要がある。

○教育・産業支援施設との連携

周辺施設と連携し出前図書館で図書館の資料を提供した。

5/9「おためしMBA（県産学官民連携センター）」

6/5「土佐MBA本科会計コース 第1講（県産学官民連携センター）」

6/16「スタートサロン10（県産学官民連携・起業推進課）」

7/3「土佐MBA本科経営戦略コース第1講（県産学官民連携センター）」

県産学官民連携・企業推進課職員に向け、ビジネス支援サービスを紹介する講座を実施した（5/10、5/22）

【評価・課題】県産学官民連携センター、県産学官民連携・企業推進課との連携が順調に進んでいる。「土佐経営塾」では、主催者、講師、図書館が一体となって、図書館活用を促すことができている。

○支援機関職員に対して、図書館を紹介していただくよう働きかけを継続して行う。